

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 12

ピリピ人への手紙（4）

キリストをわたしたちの期待として経験する

聖書：ピリピ 3:20-21

- I. パウロがキリストの経験の中で生きた生活は、自分の卑しい体を変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化する救い主、主イエス・キリストを待ち望む生活でした。ですから、彼は自分が経験したキリストを、彼の期待としました——ピリピ 3:20-21. 参照、I テサロニケ 1:10. 2:19. 5:23 後半。
- II. 「しかし、わたしたちの国籍は天にあります。そこから救い主、主イエス・キリストが来られるのを、わたしたちは熱心に待ち望んでいるのです」——ピリピ 3:20 :
- A. わたしたちの天然の生活は、どの地的な国にもありません。わたしたちの実際の市民権、わたしたちの真の国籍は天にあります——エペソ 2:6, 19。
- B. わたしたちの市民権が天にあるので、わたしたちは地的な事物、わたしたちの存在のために必要とされる物質的な事物に占有されるべきではありません——I テモテ 6:6-10。
- C. わたしたちは自分の体を対処するとき、自分の物質の必要を顧みるべきですが、過度の物質の享受にふけるべきではありません——ピリピ 3:17-19. I コリント 9:27。
- D. わたしたちは主の栄光の現れを待ち望み愛するとき、神を表現し肉を抑制する生活を生きるべきです——テトス 2:12-13. ルカ 21:34-36. II テモテ 4:8。
- III. キリストは、「万物を彼ご自身に服従させることができる彼の活動によって、わたしたちの卑しい体をも変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化してください」——ピリピ 3:21 :
- A. わたしたちは、キリストが戻って来て、わたしたちが神の救いの究極の完成、すなわちわたしたちの体の変貌へともたらされることを待ち望んでいます :
1. 神はまず彼の救いにおいて、わたしたちの霊を再生しました（ヨハネ 3:6）。今やわたしたちの魂を造り変えつつあります（ローマ 12:2）。そして究極的に、わたしたちの体を変貌させてわたしたちを栄光化し、わたしたちの存在の三部分すべてにおいて、キリストと同じにします（I ヨハネ 3:2）。
 2. わたしたちの卑しい体は、価値のないちりでできたわたしたちの天然の体であり（創 2:7）、罪、弱さ、病、死によって駄目にされました（ローマ 6:6. 7:24. 8:11）。
 3. キリストの栄光の体はキリストの復活の体であり、神の栄光で浸透され（ルカ 24:26）、腐敗と死を超越しています（ローマ 6:9）。
 4. わたしたちの体の変貌は、万物をご自身に服従させる主の偉大な大能の力によって成し遂げられます——エペソ 1:19-22。
- B. わたしたちの体の変貌は、神の満ち満ちた子たる身分のための、わたしたちの体の贖いです——ローマ 8:23 :

1. わたしたちは神聖な霊を、わたしたちの霊の中の初穂として持っていますが、わたしたちの体はまだ神聖な命で浸透されていません。わたしたちの体は依然として肉であり、旧創造に結び付いており、依然として罪と死の体であって、神の事柄において無能です——6:6. 7:24. 参照、Ⅱコリント 5:4。
 2. ですから、わたしたちは被造物と共にくめき、満ち満ちた子たる身分、すなわち、わたしたちの体の贖いと変貌を獲得する栄光の日を、熱心に待ち望んでいます——ローマ 8:19-23。
 3. わたしたちの体の贖いは、神の証印を押す霊の神聖な要素の浸透を通してです——エペソ 1:13. 4:30. Ⅰコリント 1:30. ルカ 21:28。
- C. わたしたちの体の変貌は、わたしたちの全存在の栄光化となります——ローマ 8:30, 17. Ⅰペテロ 5:10. Ⅱテモテ 2:10 :
1. 客観的に、栄光化とは、贖われた信者たちが神の栄光へともたらされて、神の栄光にあずかることです——ヘブル 2:10 前半. Ⅰペテロ 5:10 前半。
 2. 主観的に、栄光化とは、円熟した信者たちが彼らの内側から、彼らの命における円熟によって、彼らの命における円熟の要素としての神の栄光を現すことです——ローマ 8:17-18, 21. Ⅱコリント 4:17 :
 - a. 主は栄光の望みとしてわたしたちの中において、わたしたちを栄光へともたします——コロサイ 1:27。
 - b. 彼は再来の時、一方で、天から栄光をもって来て（啓 10:1. マタイ 25:31）、もう一方で、彼の聖徒たちにおいて栄光を得ます——Ⅱテサロニケ 1:10 :
 - (1) 彼の栄光は彼の肢体たちの内側から現され、彼らの卑しい体が彼の栄光へと変貌させられて、彼の栄光の体に同形化するようにします——ピリピ 3:21。
 - (2) こうして、未信者たちはわたしたち、信者たちの中の彼に驚き、彼を称賛し、彼を不思議に思います。
- IV. わたしたちは、満ち満ちた子たる身分のために、その霊の聖別する働きによって、栄光へもたらされる途上にあります——ヘブル 2:10-11. Ⅰテサロニケ 5:23. エペソ 5:26-27. ローマ 8:23 :
- A. キリストは救いの創始者、あるいはキャプテンとして、聖別を通して神の多くの子たちを有機的に救うことによって、彼らを栄光へ、すなわち神の団体の表現へ導き入れます。聖別は神の「息子化する」ことです——ヘブル 2:10-11. エペソ 1:4-5. Ⅰテサロニケ 5:23. ローマ 5:10 :
1. 神の選ばれた者たちは、彼の聖別する霊によって彼の子たちとされました（15:16. ガラテヤ 4:6）。しかしながら、わたしたちは子たる身分の中に生きていないかもしれませぬ。なぜならわたしたちは、聖別する霊がわたしたちの霊の中で語り働くことを顧慮しないからです——ローマ 15:16. 8:4. エペソ 5:26。
 2. 今日わたしたちは霊によって生き、霊によって仕え、霊にしたがって行動し、一日中、完全に霊によって、霊と共に、霊にしたがって存在することを、学ばなければなりません——ローマ 1:1, 9. 8:4. ピリピ 3:3. ゼカリヤ 4:6。
 3. そしてわたしたちはその霊の中の正常な栄養をもって、キリストの命の中で成長する必要があります。わたしたちは三つの方面で養われることができます。すな

わち、聖なる御言を読むことによって、靈的な語りかけを聞くことによって、集会に来ることによってです——ヨハネ 8:31-32. エペソ 5:26. 啓 2:7. 詩 73:16-17, 22-26. 77:13。

- B. 神の選ばれた者は「愛の中で」、御前に聖く傷のない者になり、子たる身分へとあらかじめ定められています——エペソ 1:4. 3:17. 4:2, 15-16. 5:2. 6:24. 啓 2:4 :
1. エペソ第1章4節の愛は、神が彼の選ばれた者たちを愛する愛、神の選ばれた者が彼を愛する愛を指しています。この愛の中で、そのような愛の中で、神の選ばれた者は、御前に聖く傷のない者になります。
 2. まず、神がわたしたちを愛してくださいました。次に、この神聖な愛はわたしたちを励まして、彼を愛し返すようにします。そのような愛の状態と雰囲気の中で、わたしたちは神で浸透されて聖く傷のない者になり、彼のようになります——I ヨハネ 4:19. 詩 31:23 前半. 116:1. マルコ 12:30。
- C. ヘブル第2章10節は、主が神の救いの創始者、あるいはキャプテンとして、多くの子たちを栄光へ導き入れると言います。次に11節は、聖別する方と聖別されつつある者たちについて語ります。これは、聖別が子たる身分のためであることを見せています。
- D. エペソ第1章4節は「聖く……なる」と言い、5節は「子たる身分へと」と言います。「聖く……なる……子たる身分へと」は再びわたしたちに、聖別が子たる身分のためであることを見せています。
- E. 神聖な子たる身分のための神聖な聖別は、神聖なエコノミーの中心であり、新約における啓示の中心思想です。聖別は、神が彼の永遠のエコノミーを完成するかぎです。
- F. 神聖な聖別は、神聖なエコノミーを完成することを保持する線であり、わたしたちを神聖に「息子化」し、神の子たちとならせ、わたしたちが神の命と性質において（しかし神格においてではない）神と同じになり、神の表現、彼の栄光となるためです。わたしたちが、聖別は保持する線であると言うのは、わたしたちに対する神のエコノミーの働きのあらゆる段階が、わたしたちを栄光へと、すなわち満ち満ちた子たる身分へと聖くすることであるからです :
1. 捜す聖別、すなわち初期の聖別は、わたしたちを悔い改めさせ、神に連れ戻すためです。わたしたちの悔い改めと信じることは、捜す霊、自らを責めさせる霊によりました——I ペテロ 1:2. ルカ 15:8-10, 17-21. ヨハネ 16:8-11。
 2. 贖う聖別、すなわち地位上の聖別は、キリストの血により、わたしたちをアダムからキリストへ移します——ヘブル 13:12。
 3. 再生する聖別、すなわち性情の聖別の開始は、わたしたちの霊からわたしたちを更新し、わたしたち罪人を神の子たちとし、有機体を形成します。それは神の団体の表現、すなわちキリストの有機的なからだ、召会のためです——II コリント 5:17. ヨハネ 1:12-13. 3:5-6, 8. I ペテロ 1:3. テトス 3:5。
 4. 更新する聖別、すなわち性情の聖別の継続は、わたしたちの思いから魂のすべての部分に至り、わたしたちの魂を更新して、わたしたちの魂を神の新創造の一部分とします——ローマ 12:2 後半. エペソ 4:23. II コリント 4:16. ガラテヤ 6:15。

5. 造り変える聖別、すなわち日常の聖別は、わたしたちをキリストの要素で新陳代謝的に再構成し、キリストの有機的なからだの一部として、わたしたちを新しい構成とします—— I コリント 3:12. II コリント 3:16-18. ローマ 12:1-2. 詩 68:19。
 6. 同形化する聖別、すなわち形成する聖別は、わたしたちを栄光のキリストのかたちに形成して、キリストの表現とします——ローマ 8:29. ピリピ 3:10。
 7. 栄光化する聖別、すなわち究極的に完成する聖別は、わたしたちの体を変貌させることによってわたしたちの体を贖い、わたしたちを栄光の中で完全にキリストの表現とします。それは、わたしたちが霊、魂、体において完全に徹底的に聖別されて、神の多くの子たち（彼らは彼らの命としての手順を経た三一の神の中で円熟しています）の究極の合併となり、新エルサレムとして神を表現して、永遠に至ります—— 21 節. ローマ 8:23. I テサロニケ 5:23. 啓 21:2-3, 7, 9-11, 22。
- G. 信者の栄光化の実際は、彼らが神ご自身を獲得することです。神の栄光とは神ご自身であり（エレミヤ 2:11. エペソ 1:17. I コリント 2:8-9. I ペテロ 4:14）、神の現れは神の栄光です（使徒 7:2. II コリント 3:18. 4:17）。
- H. 信者が栄光化に到達することは、神の命における彼らの円熟の頂点であり、命における神の救いの頂点です——ヘブル 6:1 前半. ローマ 5:10。
- I. 信者の栄光化は神のエコノミーの完成であり、神の願いを満足させるためです：
1. 信者の栄光化の満ち満ちた表現は新エルサレムであり、それは栄光の中で現れます——啓 21:10-11。
 2. これは、人性において神が人と成り、神性において人が神に同形化されることの、永遠における満ち満ちた表現です。
 3. これは神が願っているものであり、彼の心の喜びであって、これはまた神が彼の大いなる喜びの中で待ち望んでいるものです——エペソ 1:5。